

小学校第3学年外国語活動学習指導案

日 時：令和3年10月29日（金）5校時

児 童：男子9名 女子10名 計19名

指導者：川上 教子 ALT John Matisi

1 単元名 Unit 7 This is for you.

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、お世話になっている家族へ、いろいろな形を集めて Thank you カードを作る活動を行う。まず、形を表す語句や何が欲しいかを尋ねたり答えたりする表現を知る。次に、それらの語や表現を使って、カード作りに必要な形を集めてカード作りをする。生活科の学習で「お店屋さんごっこ」をして買い物を楽しんだり、感謝の手紙を送る活動に取り組んだりしたことがあり、これまでの学習や生活経験と重ね合わせることで、児童にとって身近で関心のある題材であると思われる。

(2) 児童について

児童は、外国語活動を始めたばかりであるが、外国語に対する興味・関心が高い。学習を重ねるごとに声が出るようになり、楽しみながら外国語活動に取り組んでいる。

発音や聞き取りに自信がなく小さな声になる児童や、外国語の問いに対して日本語で答える児童もいるが、ゲームやチャンツ等を通して、基本的な表現に繰り返し触れる場面を多く設定することで、外国語への意欲や表現力の高まりが期待できると思われる。

(3) 指導について

本単元で身につけさせたい力は、色や形などの欲しいものについて、相手に伝わるように工夫し、簡単な質問をしたり答えたりして伝え合う力である。そこで、本単元の言語活動として「お世話になっている家族へ Thank you カードを作ろう」を位置付けた。カード作りのために必要な表現を繰り返し聞いたり話したりする活動を通して、その表現に慣れ親しみ、欲しいものについて伝え合うことができるようにしたい。また、出来上がったカードを紹介する場面では、お世話になっている家族に渡すために、友達同士で、出来上がったカードについて伝える練習をさせる。児童が自信をもってカードを届けられるようにしたい。

3 単元の目標

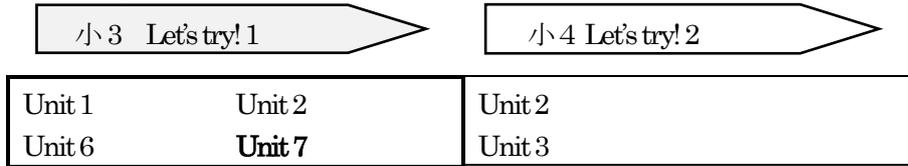
お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝える Thank you カードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

4 単元の評価規準

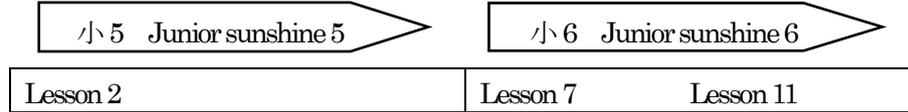
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	色や形など、身の回りの物について、 What do you want? ～, please. Here you are. Thank you. This is for you. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

5 発展と関連 〈 話すこと[やり取り]イ 〉

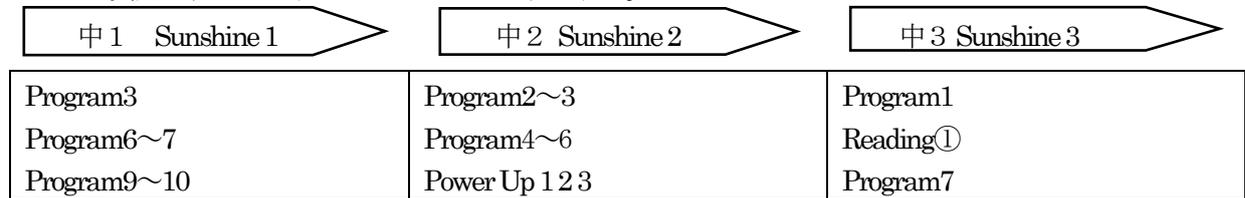
○自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。



○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて使うことができるようにする。



○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。



6 単元の指導計画

時	目標	学習活動	主な評価規準
Unit 7 This is for you.			
1	日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 形や物の言い方を知る。 季節や行事の挨拶の言い方を知る。 	
2	形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 形の言い方に慣れ親しむ。 欲しいものを表す表現を知る。 	
3	色や形など、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものを表す表現に慣れ親しむ。 	知色や形など、身の回りの物について、What do you want?/～, please. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。
4 本時	お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形など、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものを尋ねたり答えたりして、形を集める。 	思お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 主お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
5	自分の作品を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> カードを完成させ、友達同士で、渡すための言い方を練習する。 	

7 本時について

(1) 本時の目標

お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形など、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) 研究内容1【主体的に自分の考えをもち、表現するための手立ての工夫】に関わって

外国語活動・外国語・英語部会では、表現力の定義を「与えられた表現を用いて、児童生徒が自分の好みや考えを述べる力」とした。そこで、本時では、お店屋さんごっこを通して、欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができるようにする。そのために、欲しいものについて、これまでに学習した色や数、本単元で学習した形などの語句の中から選択して表現できるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学 習 活 動	留意点 (○)	評価規準
導 入 (1 0 分)	1 あいさつをする 2 Small Talk 3 めあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> Thank you カードを作るために、ほしいものをたずねたり答えたりして伝え合おう。 </div> 4 復習をする 5 【Let's Chant】 What do you want?	○聞こえてきた言葉を取り上げることによって、「形のお店屋さん」で使う表現に気づかせる。 ○本時に使う既習（色・形・What do you want? / ~, please.）を意識させる。	
展 開 (3 0 分)	6 「形のお店屋さん」をする (1)担任と ALT の「形のお店屋さん」のやり取りを聞く (2)店と客の役割に分かれて、お店屋さんごっこをする 店：Hello! 客：Hello! 店：What do you want? 客：~, please. 店：OK. ~. 店：How many? 客：One/Two, please. 店：OK. Here you are. 客：Thank you. 店：See you.	○「形のお店屋さん」のやり取りを聞き、店と客の役割に分かれて、複数で尋ねたり答えたりすることによって、安心して伝え合えるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 研究内容1に関わって 欲しいものについて、これまでに学習した色や数、本単元で学習した形などの語句の中から選択して表現できるようにする。 </div> ○店と客の役割を時間を決めて交代で行い、欲しいものについて伝え合う表現に、繰り返し触れさせる。 思 お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 主 お世話になっている家族に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	
終 末 (5 分)	7 振り返りをする 8 あいさつをする	○めあてについて自己評価させ、本時の活動で学んだことや友達とのやり取りで気づいたことなどを記入させる。	